

## (仮称) 伊豆高原メガソーラーパーク発電所概要

### 1. 事業名及び計画地

事業名：(仮称) 伊豆高原メガソーラーパーク発電所 計画地：静岡県伊東市八幡野字枝堀 1422 番 82 外 87 筆

### 2. 事業者の紹介

住 所：東京都中央区八丁堀四丁目 1 番 3 号 宝町 TATSUMI ビル 2 階

氏 名：伊豆メガソーラーパーク合同会社 連絡先：03-6222-3677

代 表 ハンファエナジージャパン株式会社 職務執行社員 代表取締役 朴聖龍

共同事業者 シリコンバンク株式会社 代表取締役 名畑和政

### 3. 設計事務所の紹介

住 所：東京都調布市調布ヶ丘三丁目 39 番 11 (本社) 神奈川県横浜市都筑区仲町台五丁目 2 番 25 (横浜支店)

氏 名：株式会社梅沢設計 代表取締役 梅澤武男 連絡先：045-482-4484 (横浜支店)

### 4. 事業計画概要

- ・事業面積：1,049,391 m<sup>2</sup> (実測) 1,130,733 m<sup>2</sup> (公簿)
- ・計画地は太陽光発電所事業施設とし、ソーラーパネル、パワーコンディショナー、変圧器、受変電設備等を設置する予定です。ソーラーパネル設置枚数は 119,763 枚を計画しており、発電量は約 40.7MW を予定しております。事業面積に対して 56%の森林を計画地周囲に残す計画とし、残り 44%の敷地に対して造成工事を行い、ソーラーパネル等の設置、管理用通路及び雨水抑制施設(調整池や側溝)を設けます。
- ・計画の基本方針として自然環境を十分に生かし、自然との調和がとれた設計を基本方針とします。特に自然地形を変えることにより発生が懸念される災害については、未然に防ぐことを責務とし、防災、排水、景観、緑化及び自然環境保全等に留意した計画とします。
- ・土地の造成は現況の地形を活かした計画とし、計画地内での切土・盛土のバランスを図り、場外への搬出は無い計画とします。また、自然環境の保全に努め敷地境界の内側 30 メートル以上は森林を残し、周囲からの景観に配慮した計画とします。
- ・防犯対策として、ソーラーパネル設置面の外周に高さ 1.8 メートルのフェンスを設置し、第三者の立ち入り及び動物の進入を防止します。造成した法面には種子吹付を行い、裸地とないようにします。

### 5. 前回(8月17日に行われた意見交換会)からの変更点について

- ①事業区域内に残る認定市道等につきましては廃道及び付替えにて計画をしておりましたが、関係各課と協議の上、現況位置のまま認定市道等を避けてソーラーパネル等を設置する計画に変更致しました。
- ②現況位置のまま認定市道等を避けてソーラーパネル等を設置する計画に変更したことにより、調整池の形状、ソーラーパネル等の配置、森林率等が変更になりました。
- ③設計審査中における関係各課との協議の上、調整池 4 を設置する計画に変更致しました。